令和7年度 愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会 総会

日　時　令和7年6月9日(月) 15:50～
場　所　ANAクラウンプラザホテル　グランコート名古屋 ローズルーム
参加者　454名　出席者:110社(委任状出席344社)

伊藤泰雄常務理事 兼 暴力追放推進委員の司会・進行のもと、愛知県産業資源循環協会暴力対策協議会の総会が開催されました。開会にあたり、永井良一会長は「反社会的勢力による企業への被害を防止するため、政府は「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」を策定し、そこでは5つの基本原則が掲げられています。この指針に基づき、政府は関係業界に対して指針のさらなる普及・啓発を進めるなど、暴力団排除に向けた取り組みを強化しています。愛知県においても、関連条例の見直しや規制の強化が随時行われており、我々の業界においても、たとえば産業廃棄物処理委託契約書に暴力団排除条項を盛り込むなど、反社会的勢力の排除に積極的に取り組んでいます。さらに、愛知県警察本部や公益財団法人 愛知県暴力追放運動推進センターをはじめとした関係団体と連携を図りながら、会員の皆様のご協力のもとで事業を推進しております。また、我々会員が、暴力団からの不当な要求の被害に遭わないためには、暴力団情勢や適切な対処方法について理解を深め、組織的に対応することが重要です。」とあいさつしました。

司会・進行
伊藤泰雄常務理事

来賓のあいさつで、愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局長 金田力氏は「昨今は匿名・流動型犯罪グループ(匿流)が、組織的かつ悪質な手口で資金を獲得し、それを暴力団に上納させるなど、手法が多様化・巧妙化しています。そのため、一見して判別が困難なケースも増えております。こうした情勢の中で、私たちは引き続き暴力団排除のための対策を徹底し、関係各所と連携しながら、暴力団の撲滅に取り組んでまいりたいと考えております。」とお話されました。

金田力局長

公益財団法人 愛知県暴力追放運動推進センター 事務局次長 早川元博氏は「暴力団の構成員数は減ってはいますが、時代に合わせ変化・巧妙化しており、社会の隙間を狙って資金獲得しようとしています。特にセントレアやリニアなど大規模プロジェクトは介入の機会が多く、注意が必要です。関係機関との連携をより一層強化し、強い意思をもって業界全体でスキを与えない体制を築いていくことが大切です。」とごあいさつをいただきました。

早川元博事務局次長

夏目享之推進室長

愛知県環境局 資源循環推進課 産業廃棄物適正処理推進室長 夏目享之氏は「産業廃棄物が適正な処理をされるためにも、法令に基づく暴力団の排除が不可欠です。経済活動の動静脈が健全に機能することで、“愛知のものづくり”も成立します。」と述べられました。

【第一号議案】令和6年度 事業報告
【第二号議案】令和7年度 事業計画（案）

総会議長には新美三良副会長が選任され、議事録署名人3名を指名し、議案審議が行われました。小野俊之専務理事により議案の説明が行われ、議案は一括審議のうえ賛成多数により原案通り承認されました。

続いて、決議文の唱和が行われ、“「暴力団を利用しない」「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さない」の暴力団追放三ない運動 プラス1（ワン）「暴力団と交際しない」を実践する”を参加者全員で唱和し、中野兼司副会長が閉会の辞を述べられ、総会は閉会しました。

〈来賓〉

愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局長　金田 力
公益財団法人 愛知県暴力追放運動推進センター事務局次長　早川 元博
愛知県環境局資源循環推進課産業廃棄物適正処置推進室長　夏目 享之
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課長　大岩 和成
豊橋市環境部廃棄物対策課長　鈴木 一弘
岡崎市環境部次長兼廃棄物対策課長　蜂須賀 功
一宮市環境部次長兼廃棄物指導課長　中村 幸司
豊田市環境部廃棄物対策課長　青木 誠
（順不同・敬称略）